

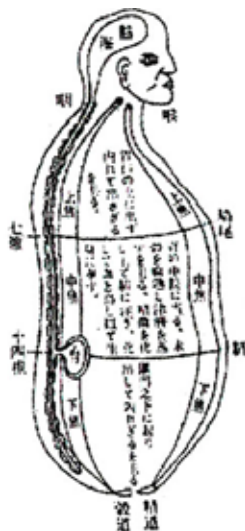
★漢方談義★



「心包」と「三焦」

太田順康

圖之絡包心



「心包」と「三焦」は、なじみのない臓器です。五臓六腑に合わせるため三焦という腑を考え、それぞれに対応する陰の臓として、心から心包をわけたようです。

「和漢三才図絵」によると心臓の外脂膜を挟んで包むようにある細筋膜を心包としているようです。心外膜を指しているようです。

心包は、臣使の官、喜楽出ずと言って心の精神作用の内、喜怒哀楽を受け持っています。

三焦は上焦、中焦、下焦に分けて場所は図に示しました。

三焦は決流の官（閉塞を開通する）水道出ず、水穀の通路、気の終始する所です。陽気を出して筋肉を温めます。

上焦は横隔膜の上であり、呼吸作用を受け持ち、中焦は横隔膜の下胃の中脘にあって消化吸收作用を受け持ち、水穀から得た精気は血となり、全身を栄養します、

下焦は下腹、膀胱の上在って排泄作用を受け持ちます。どうやら新陳代謝を受け持っているようです。

心も心包も五行では「火」に相当すると言っています。心を君火（君主の火）心包を相火（宰相の火）として区別しています。どちらも火の働きで陽気や、体温維持に関係しています。

この陽気は、外から来る外邪の風寒（菌、ウイルスなど）を追い出す役割です。免疫には大切なものです。

以上が漢方医学で考えている、臓腑の考え方です。いささか難解です。私もまだ完全に理解していません。お許し下さい。



左禪洞

すこやか教室 山歩き

曜日と時間： 毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参

<3月の予定>

2日(金) 9日(金) 16日(金) 23日(金)

2月、3月は日にちと曜日が珍しく同じです。

雪の便りが続く寒い日が、いつの間にか春の日差しを浴びて遠のきました。部屋の中はまだ寒いですが、道端では草花が顔を出し、可愛い花を咲かせています。春ですね。暖かい日差しがうれしい季節です。からだを伸ばして歩きましょう。

§ 漢方相談日

(担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長。岐阜薬科大学「漢方学」講師)

今月の漢方相談日は、下記のように。

5日(月) 19日(月) 26日(月)

§ 3月の休診日

なし

§ 甲状腺エコー検査を始めました。

ご希望の方は、受付までお申し出ください。



免疫について言えば、ウイルスなど外邪に対しては、「肝」が防衛計略を考え、「胆」はそれを判断し決定します。「腎」がその働きを強化します。また「心」と「三焦」「脾胃」は陽気を出して外邪を追い出し、「肺」は「大腸」と共に皮毛を丈夫にして外邪の侵入を防いでいます。五臓全体で病気に対抗しているのです。

飲食、生活の不摂生、過度の飲酒、喫煙、セックス過剰などで五臓を弱らせないように心掛けてください。

(つづく)

